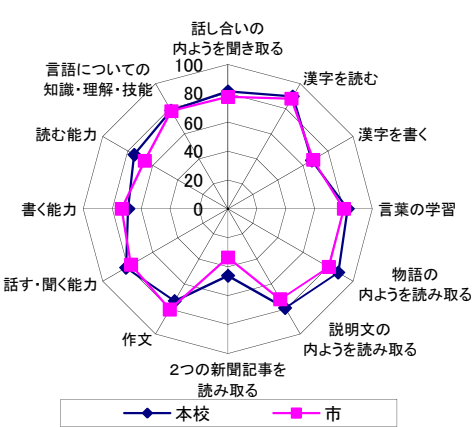


宇都宮市立豊郷中央小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	81.4	77.4
	漢字を読む	89.8	87.9
	漢字を書く	67.1	68.1
	言葉の学習	82.9	80.2
	物語の内ようを読み取る	88.1	80.6
	説明文の内ようを読み取る	79.2	72.3
	2つの新聞記事を読み取る	46.2	33.5
	作文	73.6	80.3
観点別	話す・聞く能力	81.4	77.4
	書く能力	69.1	73.4
	読む能力	74.9	66.4
	言語についての知識・理解・技能	78.6	78.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	○平均正答率は81.4%で市の平均を4%上回っている。話し手の意図を考えたり、司会者の工夫を考えたりしながら話の内容を聞く問題は良好であったが、話し手の意見の相違点を聞き取り、自分の意見を話すという問題は、市の正答率をやや上回ったものの、正答率が61.9%と低かった。	○普段から、相手の話を聞く際に、自分の意見と比べながら聞いたり、相手の話の意図は何かを意識したりして聞く習慣を身に付けさせていく。また、聞き落とさないように、「5W1H」に注意してメモを取ることも意識付けていく。メモを取る際には、素早く正確に取ることに注意させ、要点を単語や短縮形で書くことができるようにしていく。
漢字	○漢字の読みは正答率が90%に近く、高かったが、書き取りは67.1%で低く、市の平均より1%低かった。4年生で習う漢字が書けなかった。	○読み書きともに、日々の学習において、繰り返し行うことができるように設定し、過去に習った漢字も含めて、適切に使用することができるようにしていく。特に書き取りに関しては、習った漢字をできるだけ使うように意識付けをし、実践をさせていくようにする。
言葉の学習	○平均正答率は82.9%で、市の平均を2.7%上回っている。接続語のやことわざの使い方、句読点の打ち方については正答率が90%前後で、よく理解できているが、文脈に沿って漢字を適切に使う問題の正答率が57.6%と低かった。	○言語活動の充実は、国語においてはもちろんのこと、他の教科や領域においてもその充実が求められている。そのことに鑑み、学校生活における言語環境を豊かにしていくとともに、言語に対する興味・関心を高めていく場を意図的に設定していく。さらに、児童の語彙力を増やしていくように、日常の会話や文章表現の場を設け、正しく使えるように指導していく。
物語の内ようを読み取る	○平均正答率は88.1%と、市の平均より7.5%も高かった。登場人物の心情を読み取る問題の正答率は84%前後で、市の平均より5%以上高かった。登場人物の様子を読み取る問題の正答率は95.8%とかなり高い数字で、市より7.2%も高かった。	○読書の時間や読み聞かせの場を通して、様々な文学的文章に触れる機会を増やしていく。読書量が多い児童でも、読むジャンルが偏っている場合があるので、種類の違った本を読む場を意図的に設定する。登場人物の心情の変化や場面の移り変わりに注意して読んだり、主題を考えながら読んだりすることを意識付けていく。
説明文の内ようを読み取る	○平均正答率は市の平均を7%ほど上回ったが、79.2%とやや低い数字だった。文と文のつながりを考えながら読み取ったり、文章の内容を的確に読み取ってまとめたりする問題は、93.2%と高い正答率だったが、文章の内容を的確に押さえながら読み取る問題は72.9%、段落のまとまりを考えながら読み取る問題は57.6%と低い正答率だった。	○教科書以外の説明的文章に触れる機会をできるだけ増やしていく。段落相互の関係や文章の組み立て方に注意しながら読むことを心がけさせるようにし、キーワードやキーセンテンスを押さえる。接続語については、日常生活の中でも正しく使えるように指導していく。事実と意見を分けて書くことを意識づけし、実践していく。
2つの新聞記事を読み取る	○平均正答率は市の平均を12.7%ほど上回ったが、46.2%と低い数字だった。二つの文章の共通点を読み取る問題は、52.5%の正答率で、市の平均を15.2%上回ったが、二つの文章の相違点を読み取ってまとめる問題は、市の平均を10%ほど上回ったものの、39.8%と低い正答率だった。	○日頃から新聞記事に目を通す習慣を身に付けさせていく。家庭で新聞を取っていない場合には、図書館や他の施設の利用を勧める。日頃から文章を比べて読むことを意識させ、事実や意見・考え方の違いに着目して読んでいくようにしていく。
作文	○平均正答率は73.6%で、唯一市の平均を6.7%下回った。指定された長さで文章を書いたり、自分の意見と感想を区別して書いたりする問題の正答率は80%を超えているが、二段落構成で文章を書く問題の正答率は47.5%と低く、市の平均を17.2%も下回った。	○短作文や新出漢字・語彙指導など、作文の基礎に当たる部分の充実を図っていく。事実と意見を分けて書くことを常日頃から意識させ、実践させていく。二段落構成で文章を書く機会を意図的に設け、最初は少ない文量から始め、徐々に文量を増やしていく、その形式に慣れさせていく。